

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2019年1月～3月期

第92回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 前期比(平成30年10月～12月比)
 - (2)前年同期比 前年同期比(平成30年1月～3月比)
 - (3)来期見通し 来期見通し(平成31年4月～6月見通し)
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1)回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	116社
回答率	23.2%

(業種別)

製造業	31社
建設業	26社
卸売業	8社
小売業	22社
サービス業	29社
合計	116社

(2)実施時期

2019年1月～3月期

(3)調査内容

調査対象の第4四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4)調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5)調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは(景況判断指数)とは

DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

売上DI = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算DI = (好転 ") - (悪化 ")

資金繰りDI = (好転 ") - (悪化 ")

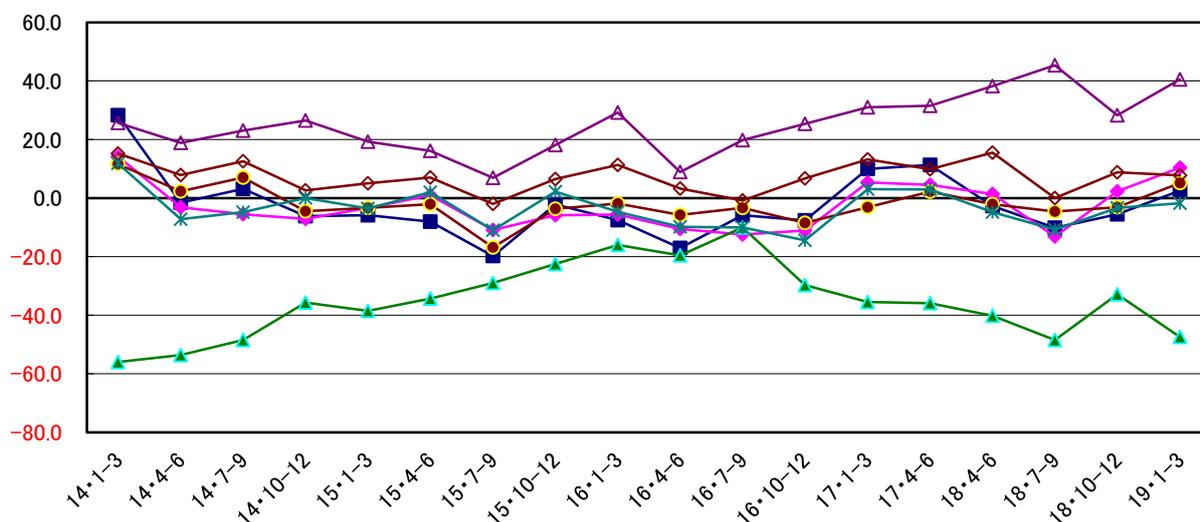
仕入価格DI = (下落 ") - (上昇 ")

雇用状況DI = (不足 ") - (過剰 ")

設備投資DI = (拡大 ") - (減少 ")

業況DI = (好転 ") - (悪化 ")

前年同期比(全企業DIの4か年の推移)



	14-1-3	14-4-6	14-7-9	14-10-12	15-1-3	15-4-6	15-7-9	15-10-12	16-1-3	16-4-6	16-7-9	16-10-12	17-1-3	17-4-6	18-4-6	18-7-9	18-10-12	19-1-3
■ 売上	28.3	-1.6	3.2	-6.1	-5.9	-8.1	-19.8	-2.2	-7.5	-17.1	-5.8	-7.6	10.0	11.4	-2.7	-10.1	-5.5	2.6
◆ 採算	14.2	-3.2	-5.5	-7.1	-3.4	1.0	-10.9	-5.8	-5.6	-10.6	-12.4	-11.0	5.4	4.5	1.3	-13.1	2.4	10.3
● 資金繰り	11.6	2.4	7.1	-4.4	-3.4	-2.0	-16.8	-3.6	-1.9	-5.7	-3.3	-8.5	-3.1	2.3	-2.0	-4.6	-3.2	5.2
▲ 仕入価格	-56.0	-53.6	-48.4	-35.7	-38.5	-34.3	-29.0	-22.5	-16.0	-19.5	-10.0	-29.7	-35.4	-35.9	-40.1	-48.4	-32.8	-47.4
△ 雇用状況	25.7	18.9	23.0	26.6	19.3	16.2	6.9	18.1	29.3	8.9	19.8	25.4	31.0	31.6	38.3	45.4	28.4	40.5
◇ 設備投資	15.2	7.9	12.6	2.7	5.0	7.1	-2.0	6.5	11.3	3.3	-0.8	6.8	13.2	9.9	15.5	0.0	8.8	7.8
* 業況	11.8	-7.2	-4.8	0.0	-3.5	2.0	-11.0	2.2	-4.7	-9.8	-10.0	-14.4	3.1	3.0	-4.8	-10.8	-3.3	-1.7

3. 概況

上昇を続ける仕入価格と人手不足による雇用状況の悪化

(1) 今期の特徴

年度末を迎え、季節的な要因で収益の増加等を予想する企業が多いものの、上昇が止まらない仕入価格のため、採算の見込めない薄利経営を余儀なくされる企業が多い。また、人手不足である雇用状況の悪化により、受注したくても受注できない状況もある。

業種別に見ると、前期比や前年同期比でみる売上・採算等は比較的好転や現状維持を示す企業が多くある。しかし、来期については、軒並み悪化を予想する声が多い状況にある。

仕入諸経費の増加する中、企業努力と営業活動により現状の経営を維持し続けている。

(2) 来期の見通し

全業種において、来期の見通しは悪化を予想する企業が多い。特に仕入価格の上昇と人手不足については、全業種を通して悪化を予期しており、今後の営業活動の中でもっとも大きな経営課題として考えられる。

また、今年10月から施行される消費税増税、軽減税率制度の導入開始による消費行動の低迷を不安視する声が多い。一方、消費税制改正前の駆け込み需要が一部業種では起こっているとの声があり、10月を境に新たな動きが予想される。今年に関しては、来年7月から始まる東京オリンピックによる特需を期待する声も挙がっている。

(3) 経営上の問題点

1位「従業員の不足」、2位「熟練技術者(従業者)の不足」、3位「需要の停滞」、同3位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、5位「人件費の増加」という結果であった。前回の結果と比較すると、2位と3位が逆転する結果となったが、5位以内の項目に変化はなかった。

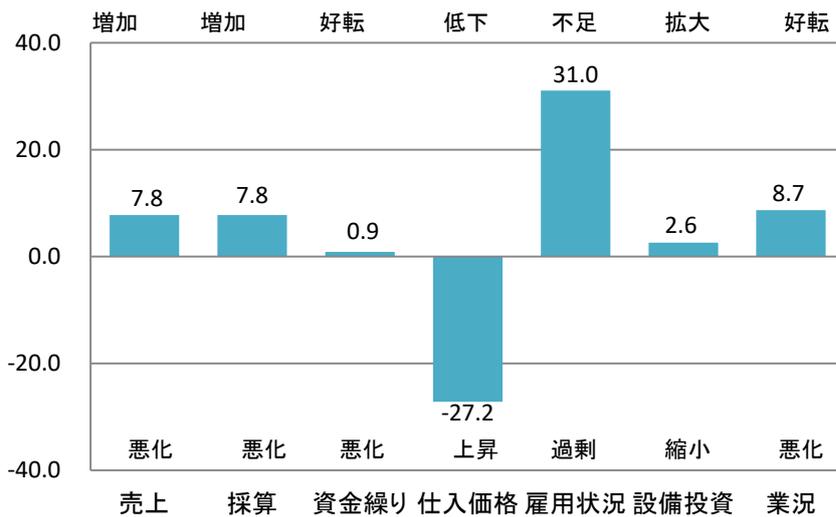
(4) 今後の対応策

1位「新規市場を開拓したい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「生産性を向上させたい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「新製品の開発を行いたい」という結果であった。

前回の結果と比較すると、2位と4位が逆転する結果となったが、5位以内の項目に変化はなかった。

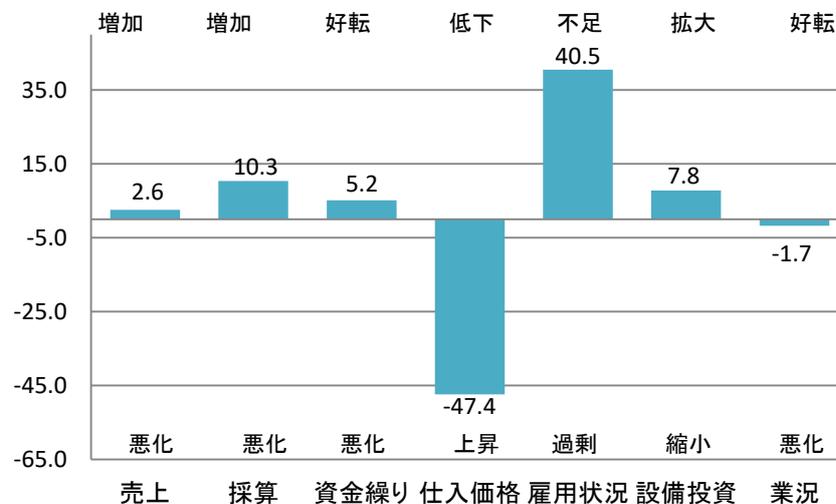
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成30年10月～12月比)



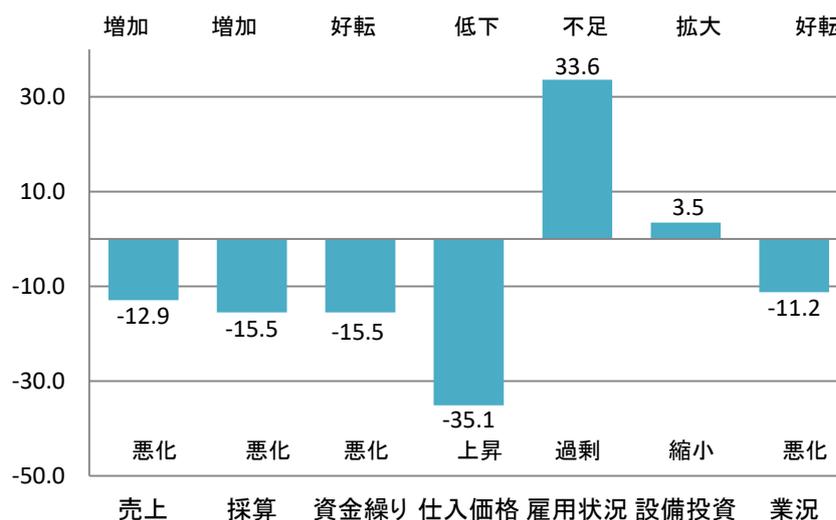
前期比をみると、仕入価格と雇用状況DIにおいて、大きな悪化と不足を示す推移となった。しかし、その他の項目では、プラス幅は小さいものの前期よりも好転を示す結果となった。業種別でも、仕入価格の上昇については、全産業を通してマイナス拡大を示している。また、季節要因による需要増加を挙げる企業もあるが、消費活動の低迷によるあおりを受ける企業が多い様子である。

前年同期比(平成30年1月～3月比)



前年同期比をみると、前期比同様に仕入価格・雇用状況DIの項目が大きく悪化を示しており、業況についてもわずかであるがマイナス拡大となった。長引く仕入価格の上昇や慢性的な人手不足は、1年前からさらに悪化していることがうかがえる。受注量が増加しても収益増加や業況の回復を見越す企業は少ない様子である。

来期見通し(平成31年4月～6月見通し)

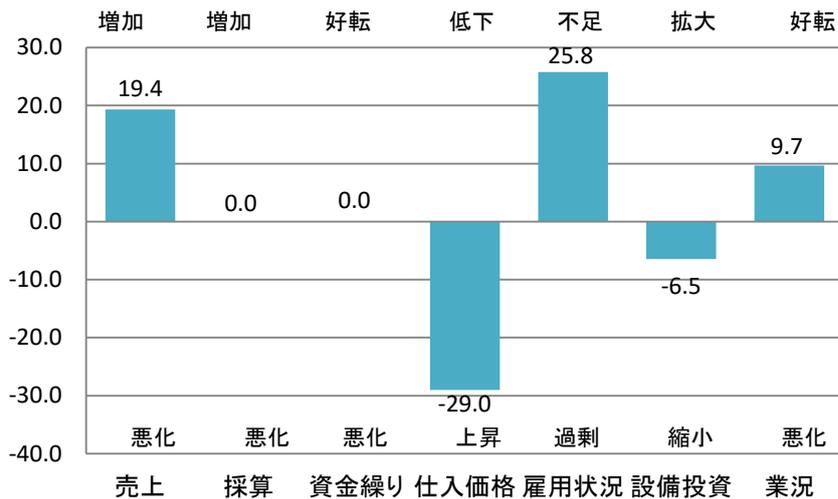


来期見通しをみると、設備投資DIのプラス拡大を除き、全ての項目で悪化を示す結果となった。年度末による需要増加の反動で来期については、売上を含め大きく減少を予想する企業があった。一方、季節的要因が重なり、これから繁忙期を迎える企業もある。そのような中、全業種を通して上昇する仕入価格により、今後も経営活動に悪影響を及ぼすことが危惧される。

5. 業種別の景気動向

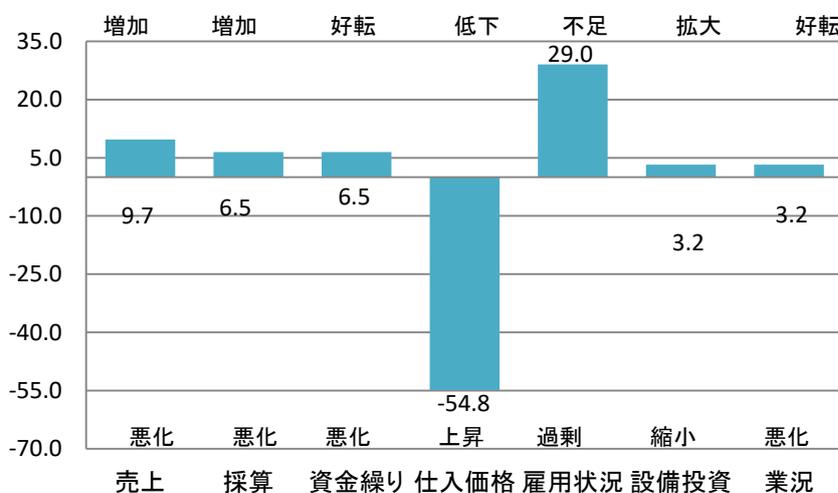
(1) 製造業

前期比(平成30年10月～12月比)



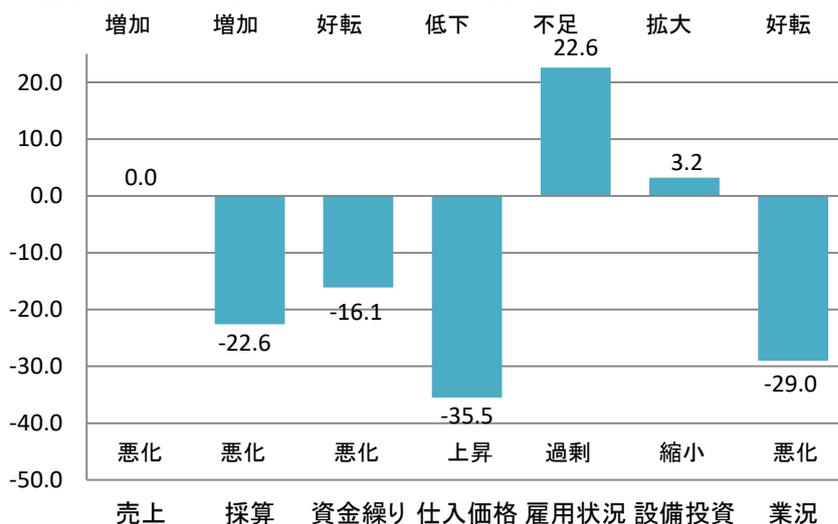
前期比をみると、売上DIが売上増加(19.4)を示しているものの、仕入価格DIと雇用状況DIが大きな悪化を示す形で推移した。しかし、業況DIが(9.7)を示すことから、仕入価格の上昇による負担があるものの、業況自体はあまり落ち込みがない様子である。企業の声でも、安定した需要が続いていることを挙げる声が多い。一方、継続した受注減少を危惧する声もあった。

前年同期比(平成30年1月～3月比)



前年同期比では、仕入価格DI(△54.8)が大きなマイナス推移を示し、1年前の同時期よりもさらに仕入価格が高騰する現状を示す結果となった。また、人手不足も深刻で、高い数値を示す結果となった。企業のコメントとしては、同業他社の参入による価格競争や消費マインドの低迷、生産体制の縮小による減収を予期する声が挙げられている。

来期見通し(平成31年4月～6月見通し)

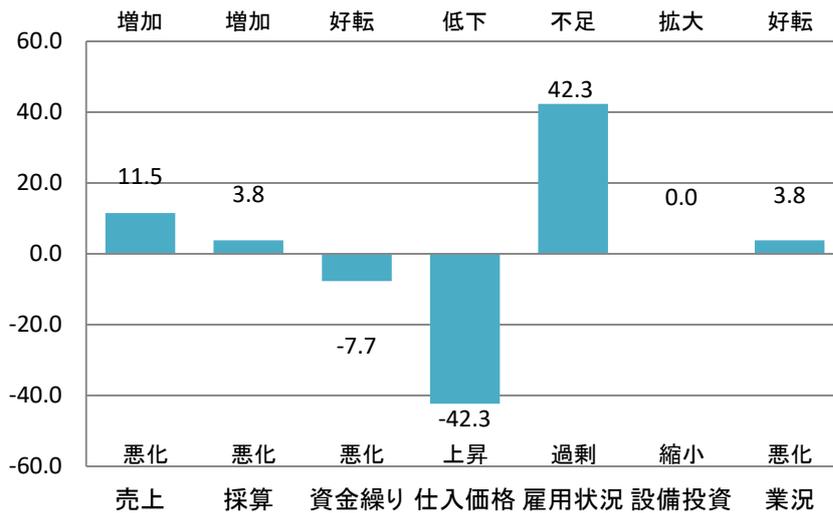


来期見通しをみると、前期比と前年同期比でプラス推移であった採算DIと資金繰りDI、業況DIのマイナス拡大へ転じる結果を示した。来期においては、仕入価格の上昇は若干抑えらえるものの、業況の悪化がこれまでとすると一転することが予想される。企業のコメントでは、値上げの実施や季節要因による好転を挙げる声があるものの、消費低迷から来る受注量の減少を危惧する声が多い。

5. 業種別の景気動向

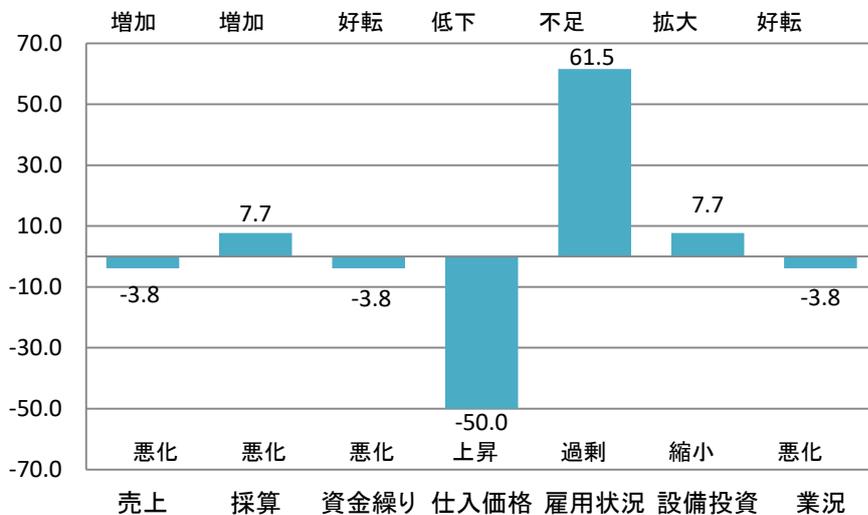
(2) 建設業

前期比(平成30年10月～12月比)



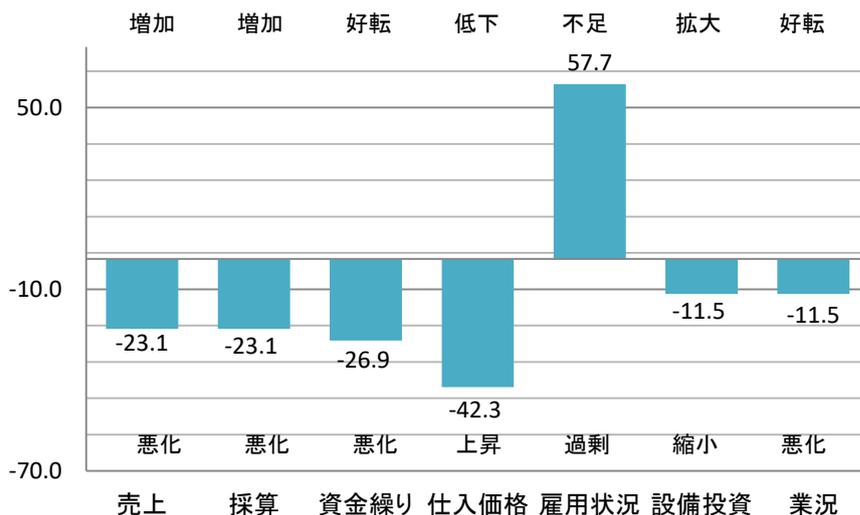
前期比では、仕入価格DI(△42.3)と雇用状況DI(42.3)が際立つ推移を示した。建設業においての人手不足は以前より言われてきたが、継続して人員が不足する状況にある。また、仕入価格については、価格上昇の動きに歯止めがかからない状況が続いている。企業のコメントでは、年度末の需要増加や新規工事受注などの季節要因による好転を挙げる声が見受けられた。

前年同期比(平成30年1月～3月比)



前年同期比の数値を見ると、前期比と同様の動きとなり、仕入価格の上昇、雇用者の不足が突出した数値を示す結果となった。業界全体として、慢性的に仕入価格の上昇が続いており、薄利経営をせざるを得ない状況にある。企業のコメントでは、受注増加や増収を挙げる声があるものの、現場職員の高齢化や人手不足が企業負担に重くのしかかる声が挙がっている。

来期見通し(平成31年4月～6月見通し)

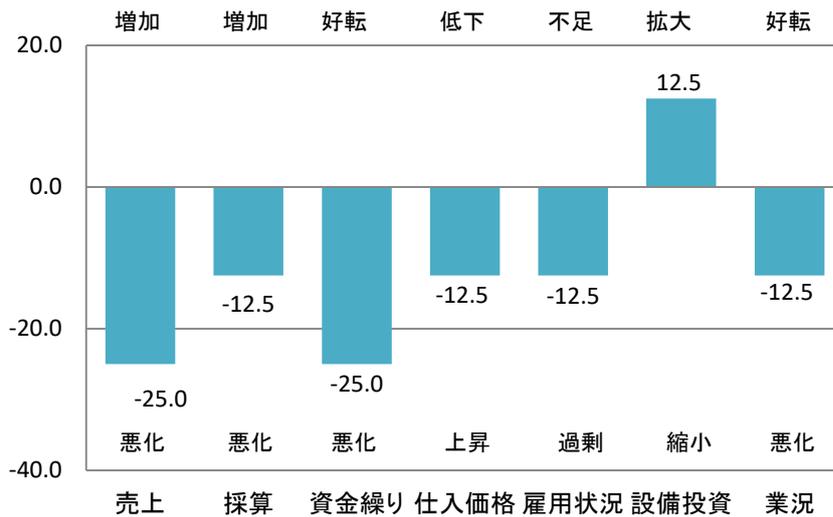


来期見通しでは、全ての項目において、悪化を示した。来期においても仕入価格DIや雇用状況DIは大きく悪化を示している。これからの年度末の予算消化による受注が見込まれる時期となるが、売上・採算・資金繰りDIの数値を見ると、益々厳しい状況が予想される。企業のコメントとしては、10月から始まる消費税増税による経費の上昇を懸念する声が多い。

5. 業種別の景気動向

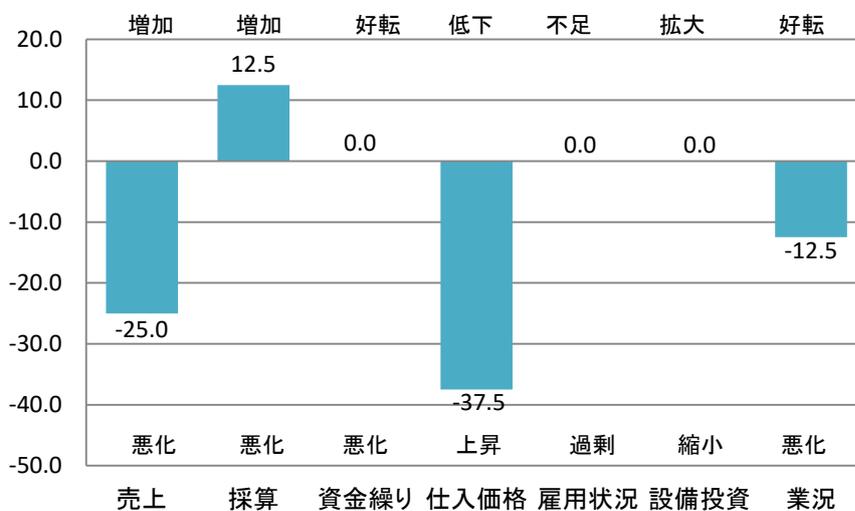
(3) 卸売業

前期比(平成30年10月～12月比)



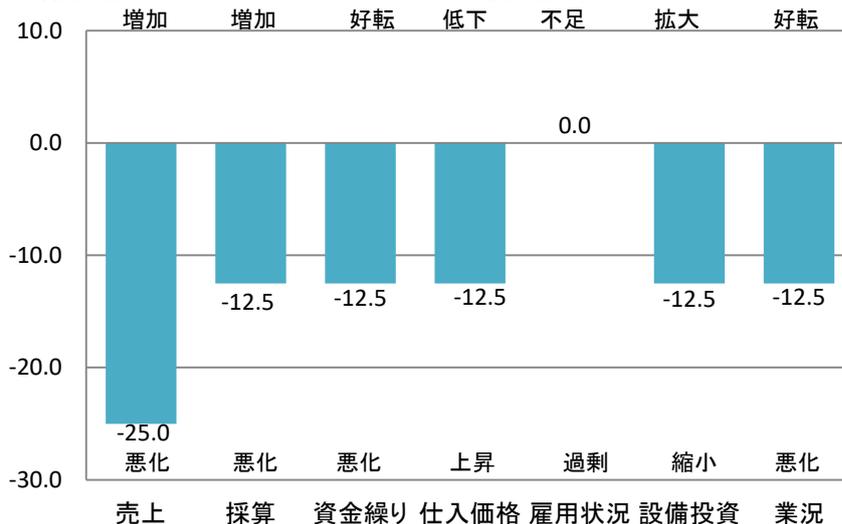
前期比をみると他の業種で人手不足の声が多い中、雇用状況DIは人手の過剰を示した。しかし、設備投資DIを除き、ほとんどの項目でマイナス拡大となっており、特に売上・資金繰りDIが(△25.0)と前期からの悪化を顕著に示す結果となっている。企業のコメントとしては、季節的要因で善し悪しが分かれている。しかし、年度末の需要増加を挙げる声が多く見受けられた。

前年同期比(平成30年1月～3月比)



前年同期比では、仕入価格DIのマイナス拡大(△37.5)が際立つ形で推移した。また、売上DIの値も(△25.0)とマイナスを示し、前年同期と比べると、売上減少に加え仕入価格の高騰による薄利経営を余儀なくされていることが見受けられる。各企業からは、消費者の購入意欲の低下や高齢化の影響による売上減少の動きがでているとの声が挙がっている。

来期見通し(平成31年4月～6月見通し)

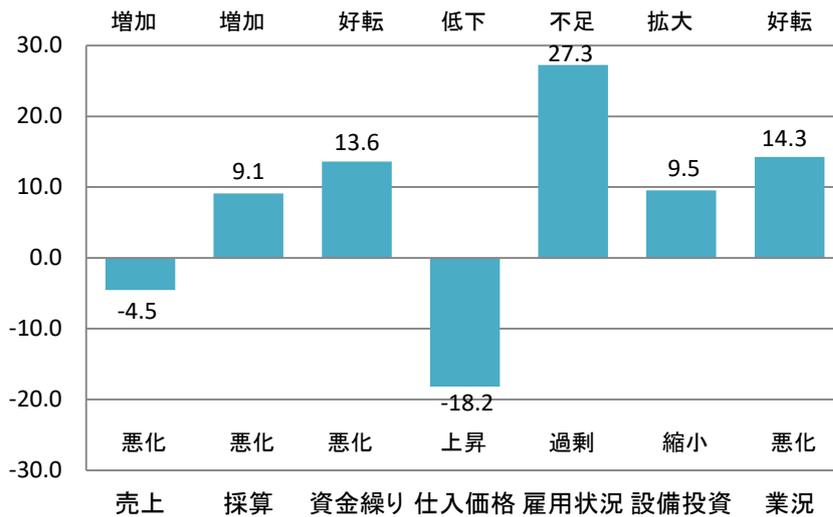


来期見通しでは、雇用状況(0.0)を除き、全ての項目でマイナスに推移した。前年同期比で大きなマイナスを示した仕入価格DIは僅かに回復したものの、ほとんどの項目がマイナスを示したとおり、今後の企業が置かれる状況はより厳しくなることが予想される。企業のコメントでも、来期に向けての動きを好転すると見込む声は少なく、より悪化することを懸念する声が多い。

5. 業種別の景気動向

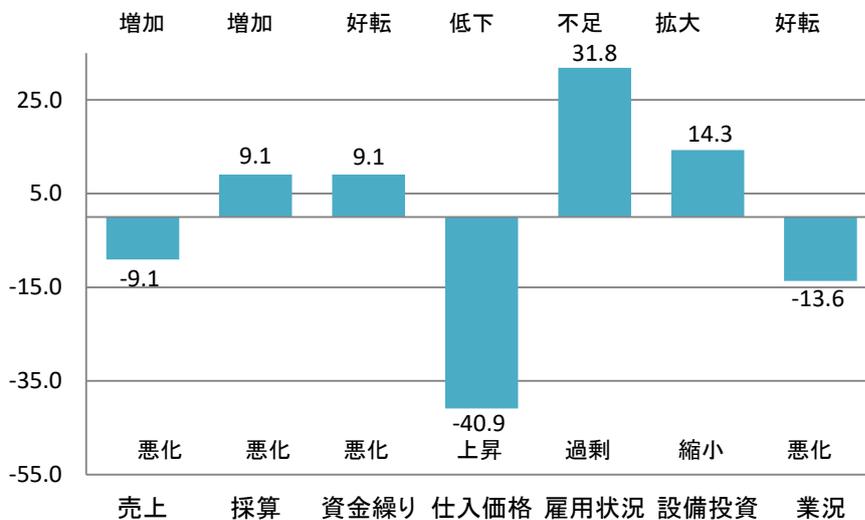
(4) 小売業

前期比(平成30年10月～12月比)



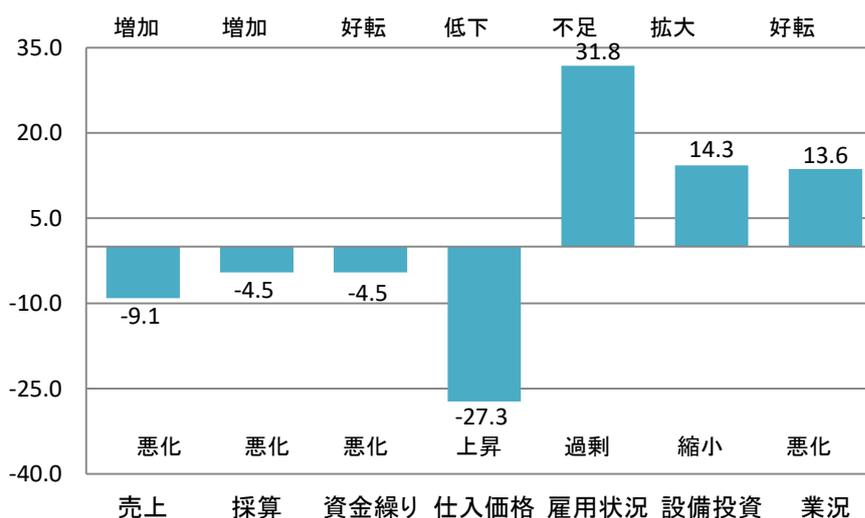
前期比では、売上DIと仕入価格DIがマイナス拡大を示したものの、その他の項目においてプラスに推移した。業況DIから業界全体としては好転を示す形であるが、慢性的な人手不足は深刻な様子で、雇用状況DIが(27.3)を示し高い数値となった。企業のコメントとして、今期が需要の多い時期であるとの声があり、季節要因が大きい。しかし、人手不足は依然として深刻な状況にある様子である。

前年同期比(平成30年1月～3月比)



前年同期比をみると、仕入価格DIの示す(△40.9)が際立って見える。また、雇用状況DIより今期の人手不足は依然として深刻な状況であることがうかがえる。売上DIや業況DIがマイナスを示す中、採算や資金繰りといったDI値はプラスを示し、企業努力による経済活動の継続が見受けられる。企業のコメントとしては、販売額の減少や季節的人員不足を危惧する声が挙げられている。

来期見通し(平成31年4月～6月見通し)

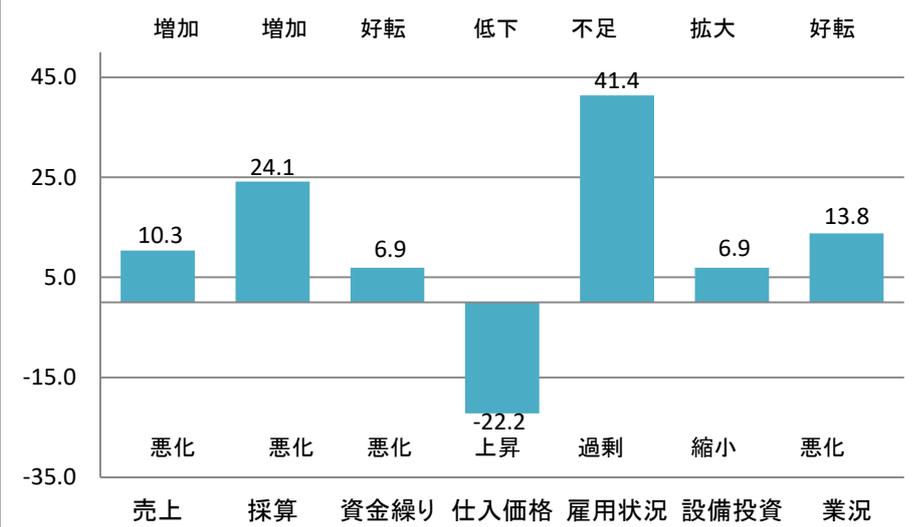


来期見通しをみると、仕入価格の上昇と人手不足は今後も悪化を示す結果を示した。一方、設備投資DIと業況DIはプラスに推移しており、厳しい状況であるが来期に向けて好転が予想されている。好転を予想する要因として、季節的な繁忙期に重なることや催事による収益の増加等が挙げられている。しかし、好転の兆しが見えないと声を挙げる企業もあった。

5. 業種別の景気動向

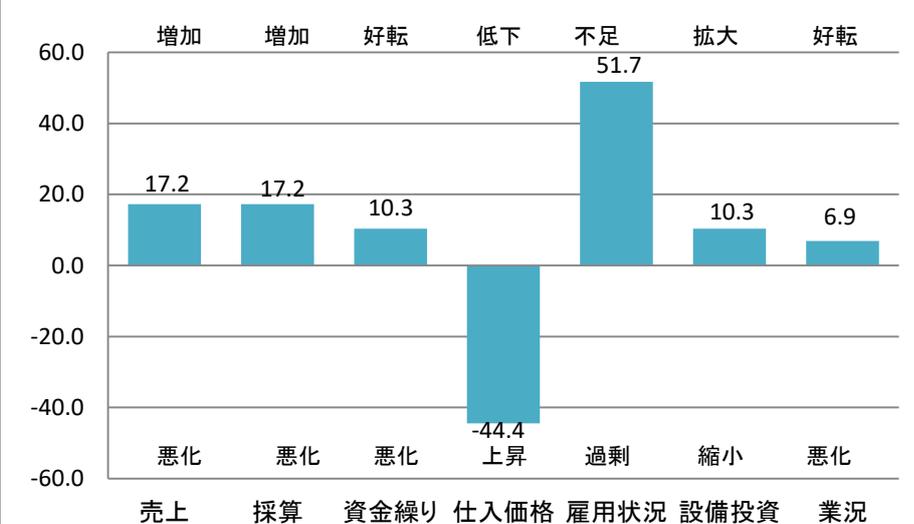
(5) サービス業

前期比(平成30年10月～12月比)



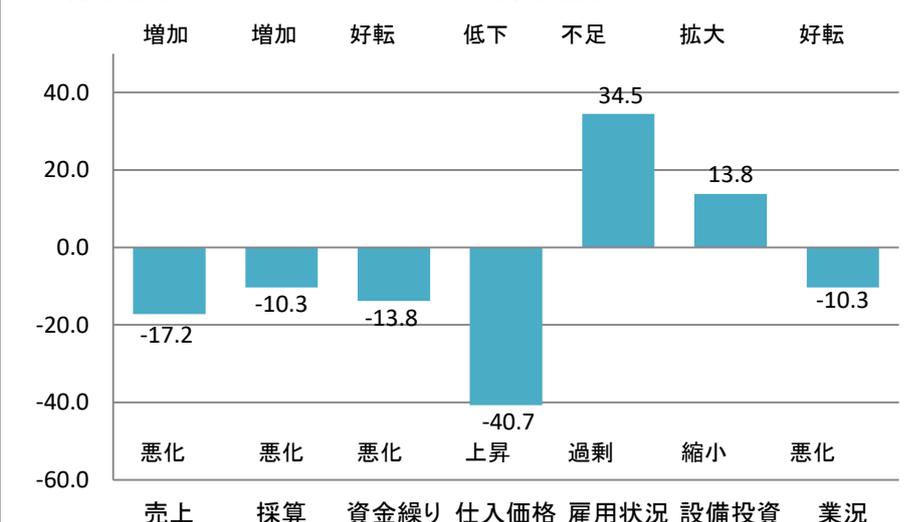
前期比をみると、売上・採算・資金繰り・設備投資・業況DIの項目においてプラスの数値を示した。各項目において、前年よりも好転していることがうかがえる。一方、仕入価格DIが示すとおり、仕入価格は上昇の一途にある。また、雇用状況も(+41.4)と高い人手不足を示した。企業のコメントとしては、季節的な需要減少が大きく挙げられた。一部企業からは業績回復の声も挙がり始めた。

前年同期比(平成30年1月～3月比)



前年同期比をみると、仕入価格DIが示す(△44.4)と雇用状況DIの(51.7)が際立って目立つ動きを示した。特に仕入価格の上昇は薄利経営を余儀なくされることに直結するため、早期の価格安定が望まれる。また、人手不足については全産業において高い水準となっている。企業のコメントとしては、販売量の増加を挙げる企業があるものの受注量の減少を不安視する声が多い。

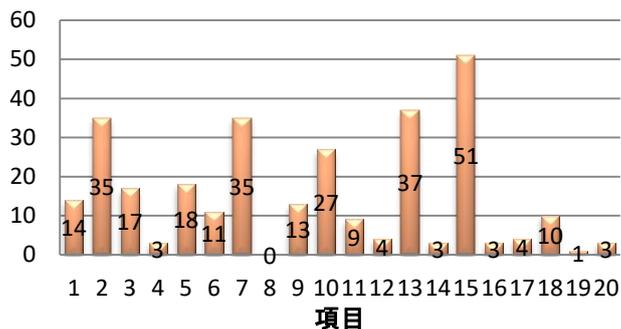
来期見通し(平成31年4月～6月見通し)



来期見通しでは、仕入価格DIが突出したマイナス拡大の動きを見せる。前期比や前年同期比でプラスに推移していた売上・採算・資金繰り・業況DIにおいて、マイナスに推移したことをみると、今後企業の置かれる状況は厳しくなることが予想される。企業によっては、来期に期待する声があるものの、仕入価格の上昇や人手不足、受注減少が今後のマイナス要因と考えられている。

6. 経営上の問題点

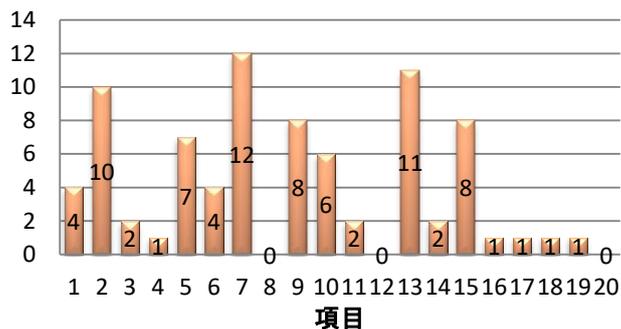
全業種



順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 需要の停滞
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 人件費の増加

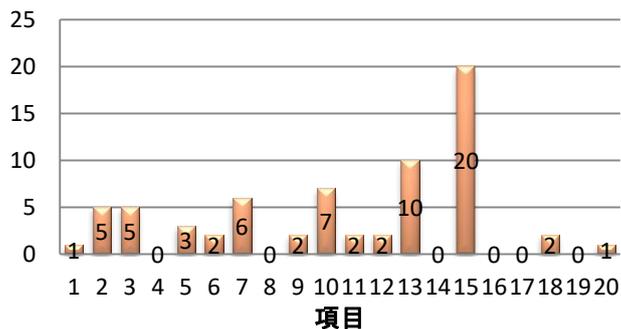
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 需要の停滞
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 4位 従業員の不足

建設業



順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 人件費の増加
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 需要の停滞
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

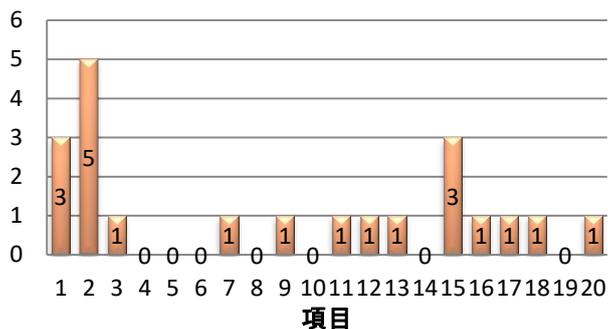
項目一覧

- 1. 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5. 生産設備の不足
- 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 9. 原材料・人件費以外の経費の増加
- 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 13. 熟練技術者(従業者)の不足
- 15. 従業員の不足
- 17. 商品在庫の過剰
- 19. 円高による海外製品との競争激化

- 2. 需要の停滞
- 4. 新規参入業者の増加
- 6. 製品ニーズの変化
- 8. 生産設備の過剰
- 10. 人件費の増加
- 12. 原材料の不足
- 14. 金利負担の増加
- 16. 事業資金の借入難
- 18. 取引条件の悪化
- 20. 代金回収の悪化

6. 経営上の問題点

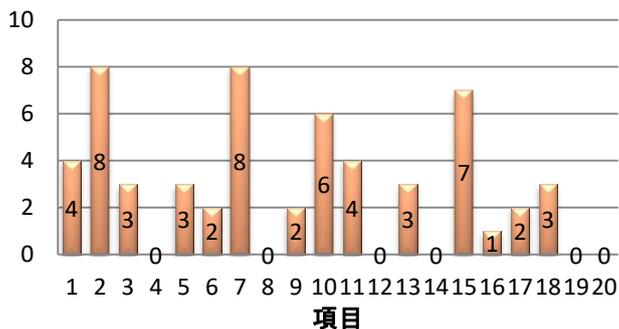
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 2位 従業員の不足

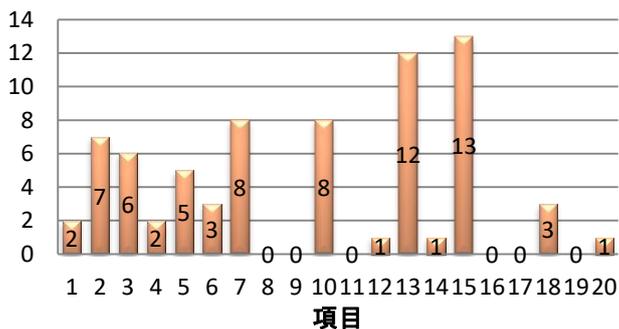
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 従業員の不足
- 4位 人件費の増加
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

サービス業



順位

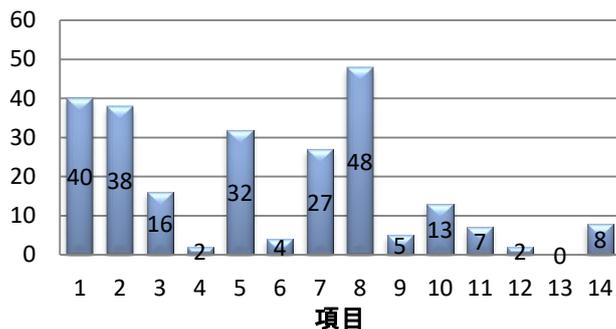
- 1位 従業員の不足
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 人件費の増加
- 5位 需要の停滞

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

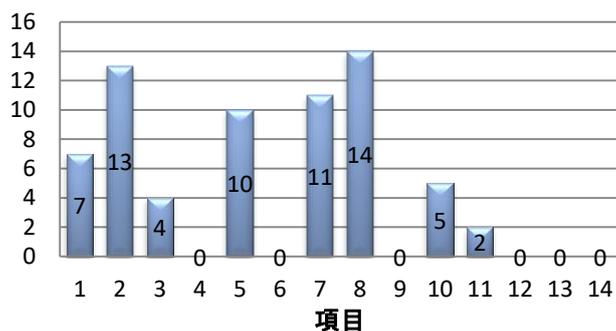
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 従業員を新規雇用したい
- 3位 生産性を向上させたい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

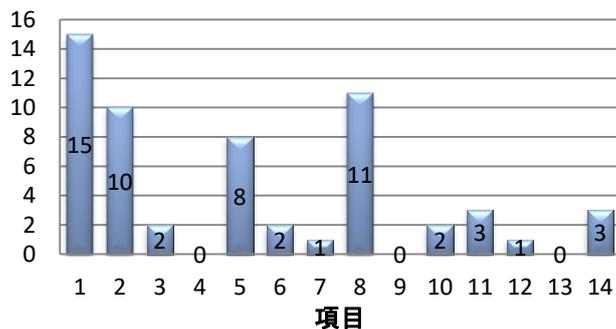
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 従業員を新規雇用したい

建設業



順位

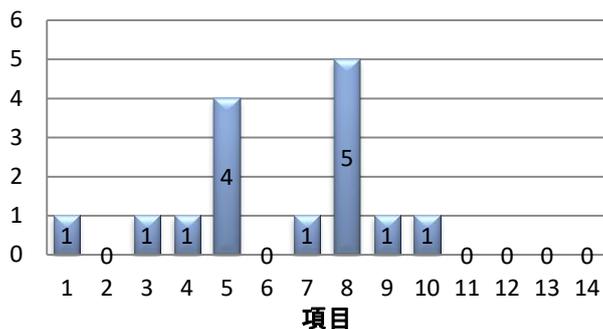
- 1位 従業員を新規雇用したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 生産性を向上させたい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 下請発注を減らしたい
- 5位 その他

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

7. 今後の対応策

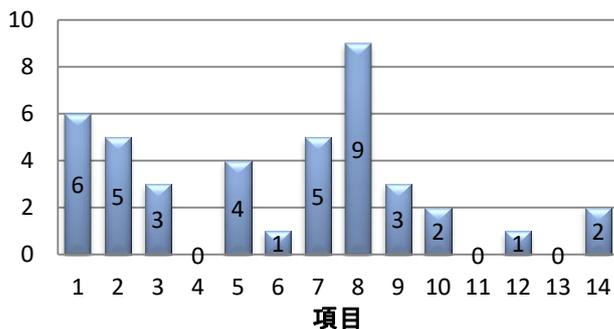
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 従業員を新規雇用したい
- 3位 人件費を削減したい
- 3位 生産調整を行いたい(操業短縮等)
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 3位 業種転換を行いたい
- 3位 経営の多角化を行いたい

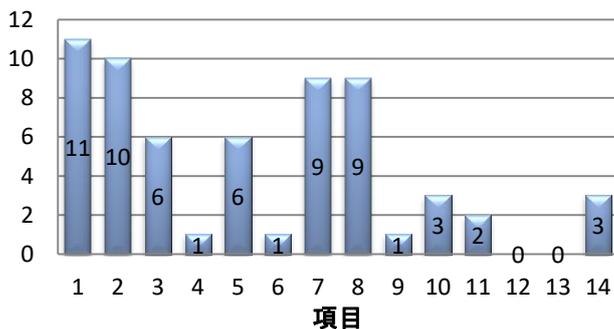
小売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 従業員の新規雇用をしたい
- 3位 生産性を向上させたい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 5位 その他の合理化を実施したい

サービス業



順位

- 1位 従業員を新規雇用したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 5位 人件費を削減したい
- 5位 その他の合理化を実施したい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
サービス業	理美容業	西都	福祉・医療・子育て支援などは十分に充実しているけど、個人商店などの若き後継者などに対しては、ほったらかし(冷遇)だと思われます。特に理容学校も廃校になり理容業も衰退の一途です。
サービス業	情報サービス業	宮崎	宮崎県内に工学系の大学を設置してほしい。
サービス業	飲食業	日向	やはり人手不足は大きな問題になると思う。まだ日向では外国人の労働者はあまり見ないが、受け入れを進めていっても良いと思います。
サービス業	環境整備	日南	雇用促進に力を入れてほしい。
サービス業	タクシー	日南	補助金(タクシー料金)等を出してほしい。高齢者や障害者が気軽に利用できる様に、料金の部分の一部補助等あれば、利用の拡大に繋がるのか！と考える。
卸売業	青果卸	日南	消費税の納付(中間納税)の納付に苦慮する。税率は上げないでほしい。購買力もますます低下し、景気は悪くなると思われる。
建設業	建設業	都城	安定した工事の発注をお願いしたい。
建設業	建設業	都城	公共工事の発注
建設業	建築工事業(木造舎)	高鍋	公共工事の平均的な発注
建設業	電気工事業	高鍋	人手不足だが、ハローワークに出しても応募がない

建設業	水道工事	日南	今、建築業界は景気が良い方だと思うが、消費税が上がるとともに民間の仕事は厳しくなると思うので、行政の公共工事の発注を増やしてほしい。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道(日南～北郷間)も3月に開通したので、残りの区間も早急に開通できる様、お願いしたい。
建設業	土木工事業	日向	年間平準化発注
小売業	総合小売業	都城	10月増税後の地域振興券などの景気対策を希望いたします。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	県として、「食」を柱として動いているのに、全国からの「食」の認知度が低い。アピールをするだけで、生産者や中小企業(小売業)まで、政策などがうまく落ちてきていない。県をアピールし、好印象を持ってもらうために、最先端で接客する小売店への理解がない。
小売業	食料品小売業	高鍋	消費税の動向の不安。上がった後の対応
小売業	飲食業	西都	私たち自営業は税金を払うため病院にも行けず、痛みに耐えながら仕事をしています。42.6%という税依存のおかげで服を買うことすらできない。子供と旅行も10年以上行ってない。消費税や国保税を払うため貯金を切り崩して生活をしている。商売は苦しいだけです。未来もない。
小売業	LPガス販売	日南	人口減と高齢比率を食い止めてもらいたい。若者の流出は街の活性化のブレーキになる。高卒の生徒の市外流出(市内、県内就職)を止めてもらいたい。
小売業	小売酒販店	日南	地方の経済が向上する為の政策を願う。
製造業	オイルシール	宮崎	消費税増税延期
製造業	漬物製造	宮崎	人口減少により販売数量の低下が見込まれる地域企業のいいものを残していく為に、友好的なM&Aができる環境をさらに、支援していただきたい。

製造業	製材業	都城	人材育成のためのセミナーや設備投資に対する補助金制度の充実。
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	統一選挙が終わり、令和の時代が景気上昇になることを期待している。消費税10%についても不安がある。これを機にわが社としても差別化できる業務を作っていないかと考えている。
製造業	調味料製造業	都城	労働条件を取り巻く様々な改定など中小企業にとっては大変対応が厳しくなると思う。
製造業	焼酎製造販売	串間	粗利を増やして借入金を減らしたいところですが、思わぬトラブルや変更により手間や材料が増えてしまいます。社会保険等福利厚生部分に充てるのが困難です。
製造業	金属加工業	日南	造り場は忙しいが、人手不足と人材流出により、受注はあるが対応が追い付いていない。何とか、ならないでしょうか。